



# 三愛学園

児童養護施設さんあい 一時保護施設 三愛子ひつじ寮

社会福祉法人 三愛学園

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

Tel 048-585-0605 Fax048-585-0562

Mail [san-ai@isis.ocn.ne.jp](mailto:san-ai@isis.ocn.ne.jp)

URL [san-ai-jidouyougo.org](http://san-ai-jidouyougo.org)



SANAI0605

## 「創設者の当時の想いに心を重ねながら」

社会福祉法人三愛学園理事長 高瀬一使徒



創設 50 周年目にあたる節目の年度がスタートしました。実は法人として県から認可を受けたのは 1976 年 2 月でした。そして同年 4 月から施設を開所すべく初代園長の高瀬美武・範子ご夫妻は期待と不安の中で忙しく動き回っていたに違いありません。しかし幾つかの課題があり 4 月になっても開所できない状況になってしまいました。必要な職員は 4 月 1 日から雇用していましたので、当面自宅待機をお願いするしかなかったようです。2 か月後の 6 月には認可を受け開所することができましたが、その間責任者であるお二人の想いは如何ばかりであったでしょうか。開設資金の問題、土地取得や地元の反対、園舎建築に関わる様々な課題、そしてようやく何とか法人認可まで漕ぎつけました。その後はスムーズに開所できると考えるのが当然です。しかし現実には施設の認可が降りませんでした。行政との調整や資金繰り等で心身共にギリギリの状況ではなかったかと推察します。私がお二人の立場でしたらメンタルが持たず潰れてしまったと思います。聖書の中にこのような言葉があります。

**「神は、御心のままにあなた方のうちに働いて志を立てさせ、事を行わせて下さるのです。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行いなさい」**

“どうしてこんなことが！”と神を疑いたくなる状況でもお二人は“事をなして下さる方”を疑わず忍耐をもって最善を尽くしました。自宅待機をお願いした職員たちには身銭を切って補償しました。これらのことを知りお二人の当時の想いに自分自身の心を重ねると、予定通りいかない小さなことにもつぶやいてしまう未熟な我が身があぶり出されます。今年度は、50 周年を記念して幾つかの大きな行事や活動を予定していますが、お二人の創設理念や精神を伝え未来に繋げるものとして実施してまいります。

未来に目を向ければ、少子化や労働者不足の影響で児童福祉を取り巻く環境は激変することが予想されます。10 年後、20 年後の児童養護施設や自立援助ホームがどのような形になるのか想像もできません。確実なことは、いつの時代にも福祉の支援が必要な社会的弱者は存在するということです。それらの方々のニーズに合わせて、これからの社会福祉法人や施設の役割は変化して行く必要があります。また変化の中で創設理念や精神を護り適用してゆかなくてはならないと考えています。

2020 年から始まった法人中期目標の「7 カ年計画」は今年度が最終年になります。大きなテーマの一つである法人規模の拡大は、自立援助ホームの設置、一時保護所の増設、地域小規模の設置でほぼ達成状況にあります。一方、もう一つのテーマである養育の質の向上は、職員育成や定着率の課題から達成には至っていないのが現状です。質の向上は福祉の永遠のテーマではありますが、少しでも具体的な改善が見られるよう最後まで努力してまいります。

今年度も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 創立 50 周年記念「さんあい祭り」

さんあい 施設長 平本 実



宮崎駿原案・脚本、高畑勲監督による 1972 年のアニメ映画『パンダコパンダ』。両親のいない小学生の少女ミミ子ちゃんは、同居している祖母が長崎での法事に行くことになり、しばらく一人暮らしとなります。そこへパンダの親子、パパンダとパンちゃんが突然転がり込んできますが、天真爛漫なミミ子ちゃんは 3 人で家族として暮らそうと提案。奇妙で楽しい家族生活が始まる、という物語です。

当時小学生だった私の心にこの映画が刺さった理由は、たとえ他人、いわんや人間と動物であっても一つ屋根の下で暮らすことで家族になれるというストーリー、そしてミミ子ちゃんたち「家族」の存在を全面的に受け入れ支える地域の方々のやさしさでした。ふりかえってみると、児童養護施設のあり様について私が考え始めるきっかけとなる体験でした。

同じころ、さんあい創設者の故・高瀬美武先生は勤めていた施設を辞し、新たに児童養護施設を作るべく奔走していました。そして、深谷市本郷に土地、建物、働き手、そして地域の方々の理解を得て、子どもたちの家、三愛学園での生活をスタートします。今から 50 年前、1976 年のことです。

当初は入所している子どもたちが楽しむ運動会のような形で始められた創立記念日の行事は、いつしか地域の方々を広くお招きし感謝を表すためのものへと変わって現在にいたるそうです。今年、その 50 回目を祝う創立記念「さんあい祭り」が開催されます。

6 月 7 日(日) 午前 10 時 30 分～午後 2 時 30 分です。

皆様、是非お誘いあわせのうえ、ご来園ください。



## 創立 50 周年に想う

さんあい 統括主任 青木義匡



今年は創設 50 周年という大きな節目の年です。三愛学園は長い歴史の中で小舎制家庭的養育の実践や一時保護所・自立援助ホーム開設など、「全ては子どもたちのために」という創設者の思いを大切に、時代のニーズに合わせ、子どもたちに必要な環境を整えてきました。

時代が変わっても私たちがなすべきことは変わりません。社会的養護のもとで生活する子どもたちの心情に寄り添い、子どもひとり一人の人生を紡ぐことです。その為に職員は専門職としての自覚を持ち、知識や技術を身に付けなければなりません。それがチーム力の向上に繋がります。

さんあいは日々の生活の中で子どもとの信頼関係を築き、頼られる大人になることを心掛けている素晴らしい職員が揃っています。子どもたちの安心安全な生活を維持するためには、こうした職員の確保・育成・定着は大きな課題です。

子どもたちの生活環境もそれを支える職員の働き方も、現状に満足せずさらなる向上を目指していきますので、今後ご支援のほどよろしくお願いいたします。



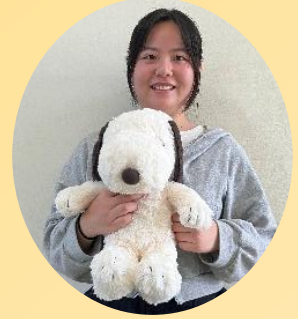
ケアワーカー かめた しおん  
亀田 蒔円

- Q1. 埼玉県入間郡毛呂山町
- Q2. バレーボールと水泳
- Q3. 平和主義
- Q4. 話しかけやすい職員
- Q5. 笑顔でいる事です。



ケアワーカー こばやし ゆあ  
小林 優羽

- Q1. 埼玉県深谷市
- Q2. バレーボール
- Q3. 大雑把。人見知り
- Q4. 子ども達が何でも話せる職員
- Q5. 運動が得意なのでグラウンドでいっぱい遊びましょう！



ケアワーカー よしもと りさ  
吉本 梨紗

- Q1. 埼玉県熊谷市
- Q2. 絵を描く事・工作
- Q3. 恥ずかしがり屋で人見知り
- Q4. ダメな事はダメとしっかりと  
と言え、話しかけやすい職員
- Q5. お話するのが好きです。たくさん話しかけてください！

## 2026年度 入職職員7名を紹介します



ケアワーカー もり みずき  
森 瑞貴

- Q1. 群馬県
- Q2. バドミントン・ダンス
- Q3. おもしろい
- Q4. 子ども達から頼ってもらえる職員
- Q5. バドミントンなら負けないので挑んでみてください！



心理士 やまくち あやこ  
山口 綾子

- Q1. 埼玉県神川町
- Q2. 飾りなどの作品作り  
地図を覚える事
- Q3. まじめだけど飽き性
- Q4. 先入観を持たず中立的な見方ができる職員。
- Q5. 外出をして効率的にリフレッシュしてモチベーションを維持しています。



ケアワーカー わたなべ まい  
渡邊 真衣

- Q1. 埼玉県上里町
- Q2. ソフトボール
- Q3. 優柔不断で人前に出るのが苦手。  
思ったことを発言できずに人に合わせてしまう。
- Q4. ダメな事はしっかりと注意ができ、  
良いことは褒められる、子どもに寄り添える職員。信頼される職員。
- Q5. 体を動かすことが好きです。スポーツはできる方だと思います。



子ひつじ寮 うめざわ ひろと  
指導員 梅沢 大鳳

- Q1. 埼玉県深谷市
- Q2. バレーボール・ゲーム
- Q3. 大雑把
- Q4. 細かい所まで気を遣える職員
- Q5. 荷物運び、事務作業、雑務何でもやります！

現在、体力はありませんがやる気はあります(笑)

入職職員に質問です！

- Q1. 出身地は？
- Q2. 得意な事は？
- Q3. 自分の性格を一言で。
- Q4. こんな職員になりたい。
- Q5. アピールポイントをどうぞ！

# 入園・入学おめでとう

4月11日(土)に保育園入園、小学校・中学校入学、そして高校進学をした子ども達をお祝いする会が行われました。パーティーのお料理は、栄養士を中心に事務所職員が心を込めて手作りで用意しました。会場も、担当職員が力を合わせて飾り付け、華やかなお祝いのムードが演出されました。



食事の前のお祈り  
小4 仲良しコンビ

～4月から新たな挑戦を始める子ども達。一人ひとりが楽しみにしている事を聞きました～

## 保育園入園

## 小学校入学

## 中学校・高等学校入学



Sちゃん:お友達と遊ぶ事

左側：Nちゃん：水泳の授業  
中央：Nちゃん：校庭でお友達と遊ぶ事  
右側：Tくん：さんすうの授業

左側：Kくん：部活  
中央：Rちゃん：修学旅行  
右側：Kちゃん：新しい友人とお出掛け

## 新入職職員による出し物

毎年恒例の催し物！入職したばかりの職員が趣向を凝らしお祝いの会を盛り上げます。

～だれが1番でしょうクイズ～



## 創立 50 周年記念事業のご報告

高瀬一使徒

### さんあいの園旗の制作

前号で中庭にフラッグポールを設置したことはお伝えいたしました。そのポールに掲げる園旗を作りました。法人のシンボルとなっているいちょうの葉を大小 2 枚にアレンジしてデザインしました。6 月 7 日のさんあい祭りの際に皆様にお披露目をいたします。



制作当初は、大きい葉が職員で小さい葉が子どもたちのイメージでしたが、何回も見るうちに心の中でイメージが変化してゆきました。つまり小さい葉が職員で大きい葉が子ども達に変化していったのです。それは子どもたちが職員よりももっと大きく成長してほしいとの願いからです。しかしそれは、職員を軽視しているからではありません。50 年の間、子ども達の 1 日 1 日を紡いでいってくれたのは職員です。過去も未来も法人にとって職員の存在は不可欠なのです。職員を大切にして、職員自身が成長しやすい環境を整えてゆくのが法人の役割です。そして成長した職員によって、子どもたちが更に大きく成長してゆくことを強く望んでいます。



### 防球ネット

昨年取得した隣地を現在は駐車場に使用していますが、今年度中に駐車場の奥のスペースを子どもたちが遊べる場として整備する予定になっています。具体的にはミニ・サッカーコートと遊具を設置した遊び場を考えています。スペース的には十分な広さがありますが、何か物足りなさを感じていました。それは隣接している道路に走る車と隔てられ、子どもたちが安心・安全で遊べる雰囲気です。そこで思い切って現在本園のグラウンド



を囲っている防球ネットを道路沿いにも設置することにいたしました。

業者さんは、以前にも防球ネット設置をお願いしたことがある専門業者であり信頼のできる会社です。工事は 1 月下旬に無事に完了いたしました。防球ネットを設置したことにより、さんあい園舎や地域小規模の居宅、そして敷地全体が守られている雰囲気がでてきて、ネットの内側にいる子どもたちや職員の安心・安全感が大いに増して喜んでいます。



## ねむの木

新しい年度を迎えましたが子ども達は毎日元気いっぱいです。夕食時は「聞いて聞いて」と皆が一斉に話し始めるので、聞く耳がたくさん必要です。でも一日の中で、一番大事にしたいひとときでもあり、職員にとって大好きな時間でもあります。ねむのきは新1年となった児童が3人もおり、朝のひとつときは正に戦場…(笑)それでも体より大きいランドセルを背負い緊張した面持ちで大きい子達に混ざり登校する後ろ姿を見ると、朝からウルウルとしてしまいます。学校生活についていけるかな、友達はできるかな、歩いて帰ってこられるかな…本当に心配してもきりがありません。だから毎朝、ありったけの思いを込めて「気をつけてね！いってらっしゃい！」と送り出します。しんどかった受験生活を終え無事に高校入学を迎えた児童も、可愛い制服に身を包み毎日元気に登校しています。新しい生活に慣れるべく必死で頑張っている子ども達が疲れを癒し、ホッとできるそんなホームでありたいと思います。(金)

## アニマルクラブ

活動のスタートは毎年6月から。新しいお部屋や学校に慣れてきてからがアニマルクラブ始動です。始動を前にこの時期は、新しくクラブに入る児童は何人かな？どんな活動をしようかな？など、わくわくしながら1年間の活動を考える私の大好きな時期です。動物との触れ合いの中で育まれる心の成長を温かく見守りながら、今年も楽しく活動していきたいです。(村尾)

## 園内感染症対策

児童養護施設における感染症対策は、子どもたちの心身の安全を守るための非常に重要な取り組みです。6人1部屋での生活で、保育園から高校までの子どもたちが食卓を共にしています。ワイワイと楽しい毎日であると同時に、感染症拡大の危険と隣り合わせの毎日でもあります。年末から年明けにはインフルエンザのA・Bが園内で流行し、とうとう10名を超え保健所へも報告するまで拡大しました。集団生活を送る環境だからこそ、日常的な手洗い・消毒の徹底に加え、こまめな換気や共有スペースの清掃といった環境整備が、日々の感染症予防に直結していることをつくづく考えさせられる出来事となりました。同時に、感染防止のための制限が子どもたちの交流や活動の妨げにならないよう配慮していくことの難しさも感じました。子どもたちのみならず、職員の皆様のフォローができるよう看護師としてお手伝いしていけるよう努めていければと思っております。(青木麗)

## いちじょうの広場



## さんあいからの旅立ち

自分の将来の夢を叶えるために専門学校に進学したSちゃん。高校3年間はアルバイトを頑張り目標貯金額を達成することができました。旅立ちの日の前日はホームでお別れ会をし、みんなで語り合いました。退所が近づくところからは全部1人でやらなければいけないと不安も強く感じていたので、私たちはずっと応援してる、きっと楽しい事もたくさんある！とみんなでエールを送りました。これからもSちゃんの事を見守りながらサポートしていきたいと思っております。(鈴木)

## オリーブ

女子オリーブは現在子ども3人で生活しています。人数が少ない分子ども達と一緒に遊ぶ時間もとれ、毎日和気あいあいと楽しんでいます。休日はさんあいの中庭やグラウンドで遊んだり、畜産が盛んな地域なので近くの牛や豚がいる場所まで散歩に行くこともあります。また、中庭にある砂場ではアイスクリーム屋さんごっこが開店します。上手に玩具を使いとても美味しそうなアイスクリームがたくさん並びます。「いらっしやいませ～」となりきる姿も可愛らしいです。(加藤小)

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

ご寄付は下記の口座をお願いします。\*お名前をお入れください\*

埼玉りそな銀行 岡部支店(普) 0058888 7) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9) 10) 11) 12) 13) 14) 15) 16) 17) 18) 19) 20) 21) 22) 23) 24) 25) 26) 27) 28) 29) 30) 31) 32) 33) 34) 35) 36) 37) 38) 39) 40) 41) 42) 43) 44) 45) 46) 47) 48) 49) 50) 51) 52) 53) 54) 55) 56) 57) 58) 59) 60) 61) 62) 63) 64) 65) 66) 67) 68) 69) 70) 71) 72) 73) 74) 75) 76) 77) 78) 79) 80) 81) 82) 83) 84) 85) 86) 87) 88) 89) 90) 91) 92) 93) 94) 95) 96) 97) 98) 99) 100)

## 編集後記

さんあいには2匹の金魚がいます。お祭りの屋台ですくった金魚を男の子が持ってきたのは5年前の夏。3cmほどの小さな金魚でしたが、広い水槽で泳ぎ続け、今は体長15cmほどになり、一見すると金魚には見えません。金魚の成長は、育つ環境が大きく影響するそうです。すいすいと泳げる広い水槽は、その金魚にとってはのびのびと成長できる最高の環境だったのです。それは人も同じ。子どもが子どもらしくのびのびと成長できる環境作りを常に追求し続けなければいけない、とすいすい泳ぐ金魚を見ながら今日も思いを巡らせています。(広報タスクチーム一同)